

平成21年10月23日

貧酸素水塊速報 (2009年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 【協力】 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 千葉灯標モニタリングポスト
 国立環境研究所

(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成21年10月19日観測結果

先週よりやや貧酸素化が強まり、湾奥(船橋～千葉市地先)にはほぼ無酸素な水塊が分布していました(図1)。この水塊は鉛直的には1～2m程度と薄いので(図2)、大規模な青潮を引き起こす可能性は低いと思われます。しかし、局所で散発的には発生するかもしれないので、風向きに注意が必要です。なお、貧酸素水塊の規模はほぼ例年並みで推移しています(図3)。

表層水温は21 前後でした。褐色気味な海域がありましたが、濃い赤潮は見られませんでした。

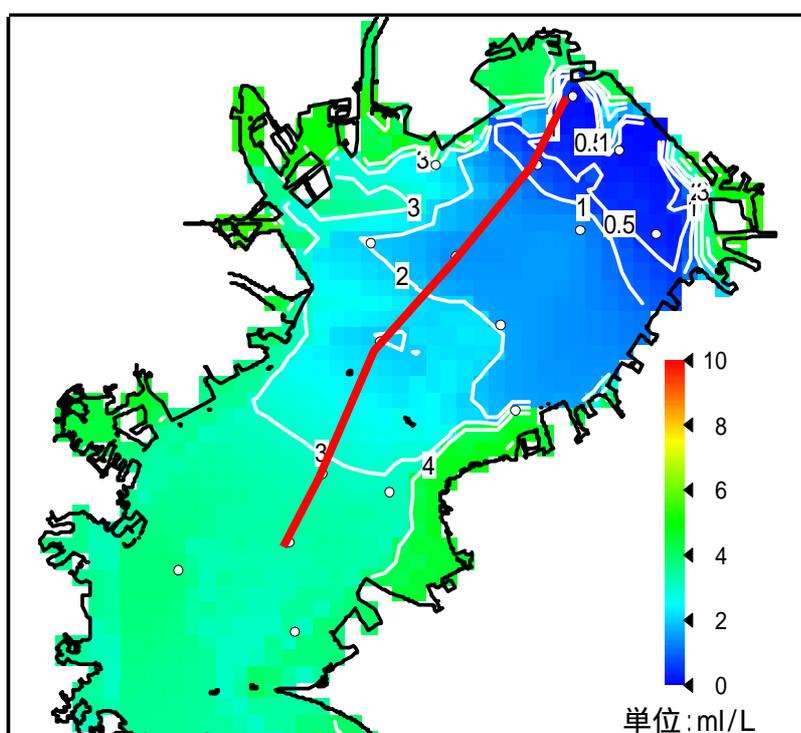


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

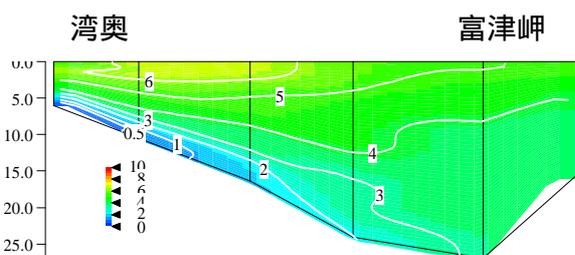


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

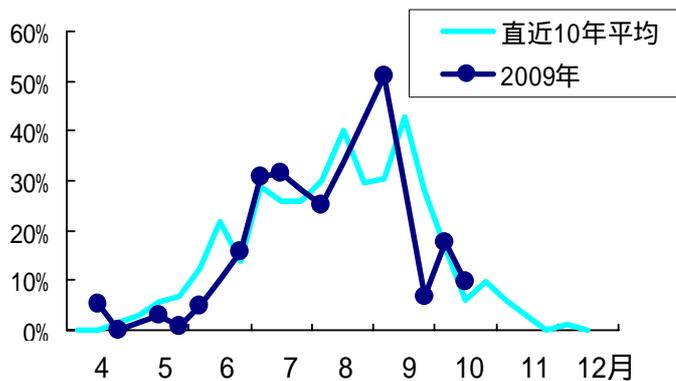


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)